

# とよたエコ交通アドバイス活動のあらまし

豊田市エコモビアドバイス活動促進事業 平成27年度地域活動支援・連携促進事業（環境省補助事業）

とよたエコモビアドバイス活動コンソーシアム 幹事団体：一般社団法人環境創造研究センター

## 1. 事業目的・概要

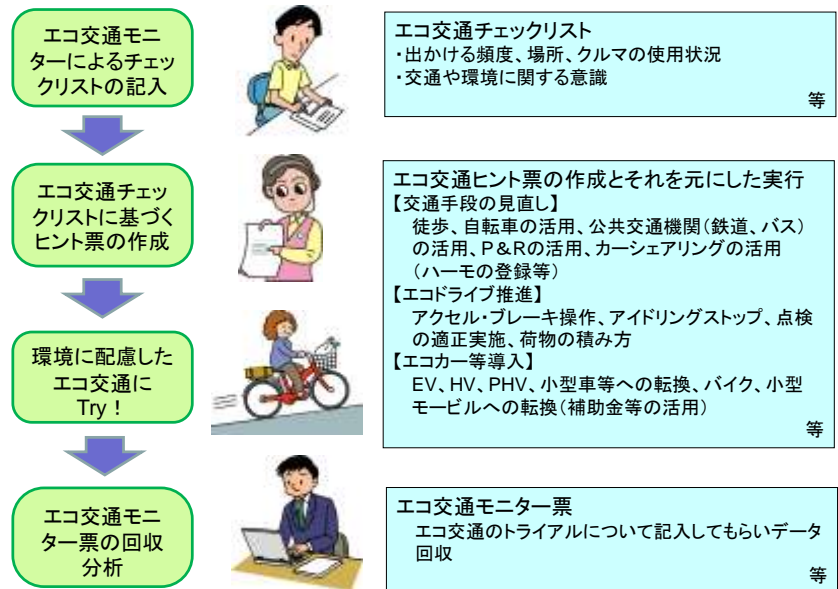
愛知県は東京や大阪に比べて自家用車利用が多い状況にあります。その中で豊田市では先端的低炭素輸送機関の実証や公共交通に関わる各種インフラの整備、専門の研究機関（豊田都市交通研究所）の運営、市民向けの啓発など意識的に様々な形で低炭素交通の先進施策を進めてきました。5年ほど前からはエコドライブの普及啓発や、企業単位でエコ通勤に取り組む「豊田エコ交通をすすめる会」による通勤の分野での「エコ交通」の活動が進められています。

こうした取組みを受け、豊田市の低炭素交通関係者を横断的に連携させるコンソーシアムを組織し、移動者の低炭素交通行動（以下エコ交通と言う）を促進するきっかけづくりを行うアドバイザー養成と移動者にアドバイスを行う体制を構築、実施することになりました。

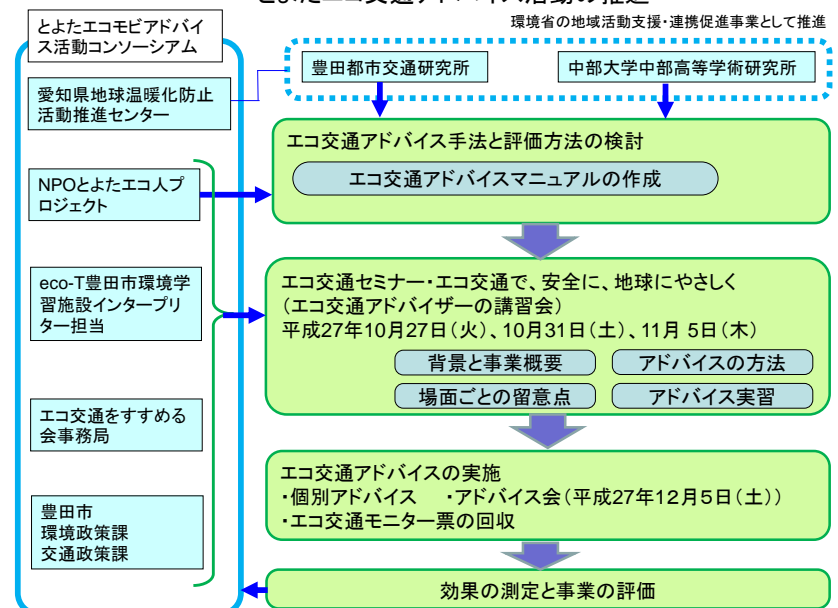
自家用車利用などによる移動を低炭素化するためには、交通手段の転換やエコドライブなど様々な方法がありますが、行われるためには移動者が置かれている状況に基づいて、取り得る中から移動者自身が最も適した手段を選択する必要があります。しかし一般の移動者がこうした選択肢を考えることは、そのきっかけもなく、最適な手段に関する情報の入手の点からも困難と考えられます。

そこで対象となる様々な交通場面について、移動者の通勤・通学、事業、生活など、それぞれの場面に応じて、幅広い選択肢について示したエコ交通アドバイスマニュアルを作成することにしました。そして市民から募集した希望者にレクチャーすることでアドバイザーを養成し、個々の移動者（モニター）に対して事前調査票に基づく個別アドバイスをを行い、モニターアンケートを回収して効果を測定し、分析・評価を行う活動を実施しました。

### とよたエコ交通アドバイス活動



### とよたエコ交通アドバイス活動の推進



## 2. 事業実施内容

### (1) 事業運営のためのコンソーシアム会議等の開催

事業を円滑に行うためコンソーシアム組織を構築しました。事業評価や学術的検証などの専門的事項については交通工学研究の専門機関や地域環境活動研究の専門機関と連携しています。コンソーシアム会議は、計画と運営、及び事業報告についての計5回を開催しました。また活動参加者に対してのアドバイス手法と、実際に活動してもらった結果としての評価の手法について場面ごとの特性を配慮して検討するために、専門家による検討会を3回開催しました。

### (2) エコ交通アドバイス活動の方法の組み立て

検討会の結果を元にエコ交通アドバイス活動の方法を取りまとめ、帳票とマニュアルを作成しました。

実際のアドバイスについては、エコ交通のきっかけづくりを主眼とし、アドバイザーとしても、移動者として参加するモニターとしても、難しく考えなくてすみ、様々な手段にトライしてもらえるように、選択式のチェックリストの帳票とするなど、記入しやすいものとししました。マニュアルについては、帳票の記入方法やアドバイス時の留意点の他、エコ交通に関わる豊田市内の最新情報の資料集を添付し、具体的なエコ交通の方法を検討できるように配慮しています。

### コンソーシアム会議

(NPO)とよたエコ人プロジェクト  
豊田市環境政策課  
エコ交通をすすめる会（豊田市交通政策課）事務局  
豊田商工会議所青年部  
愛知県地球温暖化防止活動推進員  
愛知県地球温暖化防止活動推進センター

第1回	H27年8月10日	規約承認、事業計画内容の共有
第2回	H27年9月7日	アドバイス手法と帳票内容案
第3回	H27年10月7日	アドバイザー講座計画、モニター募集方法
第4回	H27年11月9日	アドバイス会開催計画
第5回	H28年3月4日	事業成果報告

### エコ交通アドバイス手法検討会

豊田都市交通研究所  
中部大学中部高等学術研究所  
愛知県地球温暖化防止活動推進センター

第1回	H27年8月10日	アドバイス技術内容、検討日程
第2回	H27年8月25日	帳票設計、アドバイスマニュアル内容
第3回	H27年9月18日	講座カリキュラム

**●基本的な考え方**

**エコ交通の目的**

- ①環境負荷低減
- ②渋滞緩和
- ③交通事故低減
- ④健康増進

**エコ交通の方法**

- ①交通手段の変更
- ②クルマの上手な利用

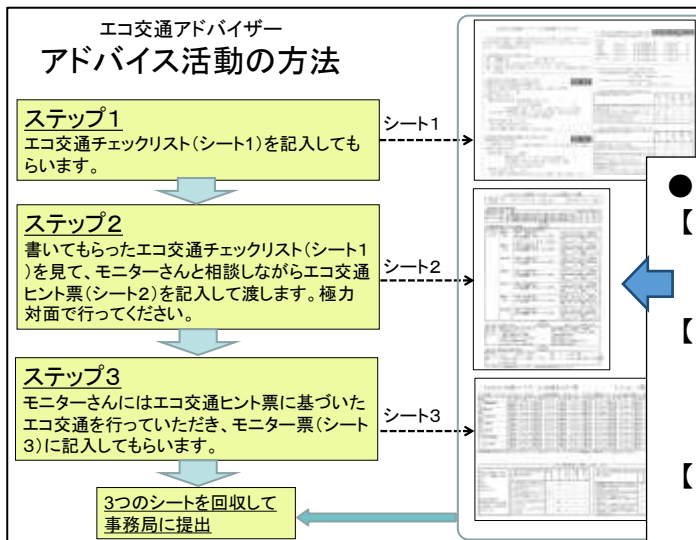
**豊田市で推進しているエコ交通**

市民としても協力しなくちゃね!

①環境負荷(CO2排出)の軽減、②交通渋滞の軽減、③交通事故の低減、④移動者の健康増進のため「エコ交通」を実施 ※通勤に限らず、買い物・送迎も含む

(1)交通手段の変更  
: マイカーから公共交通機関・自転車・徒歩への転換

(2)クルマの上手な利用  
: エコドライブ、相乗り、時差出勤、パーク&ライド



**●三種類の帳票でエコ交通アドバイス活動**

【シート1】エコ交通チェックリスト  
アドバイスを求めるモニターが自分の交通行動についてチェック

【シート2】エコ交通ヒント票  
チェックリストを踏まえ、モニターの意見を聞いてアドバイザーがヒント票のアドバイス項目に記入

【シート3】エコ交通モニター票  
ヒント票に基づいてモニターがエコ交通を1週間実施。その結果をモニター票に記入。

### (3) エコ交通アドバイザーの養成講座

豊田市環境学習施設 eco-T のインタープリターを中心に合計 29 名の市民に対しアドバイザー養成講座を 3 回実施しました。参加者へエコ交通の動機付けを行うため講座開催と同時に電気自動車ハーモ、立ち乗り型モビリティのウィングレット、電動アシスト自転車の試乗会を同時に開催し、エコ交通アドバイザーとして未来型モビリティを体感していただきました。



#### エコ交通アドバイザー養成講座カリキュラム

挨拶 5 分	事業目的概要説明
導入 10 分	○今なぜエコ交通（クイズ形式趣旨説明）
座学：活動概要 20 分	○めざせ！エコ交通アドバイザー（アドバイスマニュアル解説） ・エコ交通アドバイス活動の目的 ・活動の概要 ・エコ交通アドバイスの方法 ・シートの記入例
座学：背景知識 20 分	○エコ交通、効果と効用（資料解説） ・車をやめて徒歩・自転車を！、バスや鉄道を使おう！ ・みちなびとよたの使い方（概要） ・パーク&ライド、カーシェアリングについて ・エコドライブのメニュー ・買い替えるならエコカーを考えよう、エコカー補助金の概要
休憩 10 分	
実習：エコ交通アドバイス 45 分	○やってみよう！エコ交通アドバイス実習（二人一組でお互いにアドバイス） ◇エコ交通チェックリストの記入と確認 ◇エコ交通アドバイスとヒント票の作成 ・場面で頻度の多い交通行動を確認 ・交通手段転換、エコドライブ、エコカーの導入（買換え） ◇エコ交通モニター票 ヒント票の記入内容を元にエコ交通トライアルとモニター票の記入と回収を依頼
アドバイザー登録、事務連絡 10 分	

#### 開催日

- A 日程 H27 年 10 月 27 日 10:00～ 豊田市環境学習施設 eco-T
- B 日程 H27 年 10 月 31 日 13:30～ とよた Ecoful Town
- C 日程 H27 年 11 月 5 日 13:30～ とよた Ecoful Town

### (4) モニターへのエコ交通アドバイスの実施

エコ交通アドバイスを受けるモニターを市の広報、コンソーシアムメンバーの関係者、エコ交通アドバイザーの知人、関係者等を通じて募集し、アドバイザーが個別にエコ交通アドバイスを実施しました。また、とよた Ecoful Town のクリスマスイベントで、電動アシスト自転車の体験コーナー、おいでんバスペーパークラフト作成コーナーとともに、相談ブースを出展し、一般の来場者をモニターとしてエコ交通アドバイスを実施しました。



平成 27 年 12 月 5 日（土）「エコフルタウンでクリスマス」イベントに相談ブース出展

### 3. 事業の成果

#### (1) 活動参加者数

とよたエコ交通アドバイス活動の結果、アドバイザー養成講座に参加し登録していただいた方が 27 名でした。これらのアドバイザーが知り合いのモニターにエコ交通アドバイスをを行ったのは 108 件、エコフルタウンのクリスマスイベントの相談ブースで行ったのは 24 件でした。さらにアドバイスを受けてエコ交通を実施した結果をモニター票に記入していただいたのは全体で 114 人でした。

エコ交通アドバイス活動参加者数（アドバイザーとして参加）

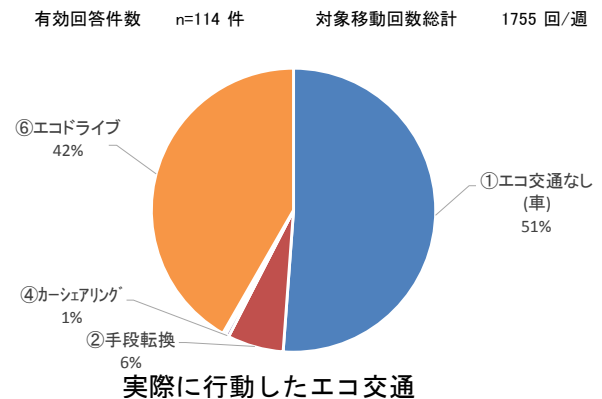
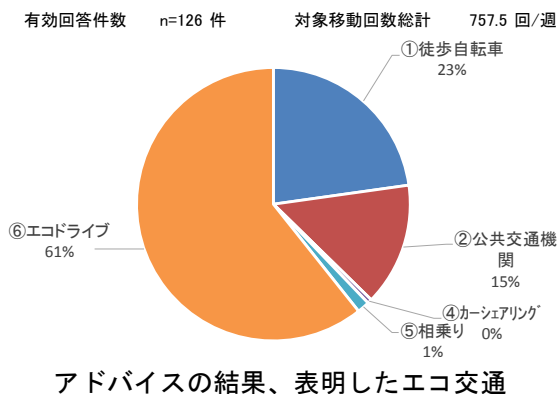
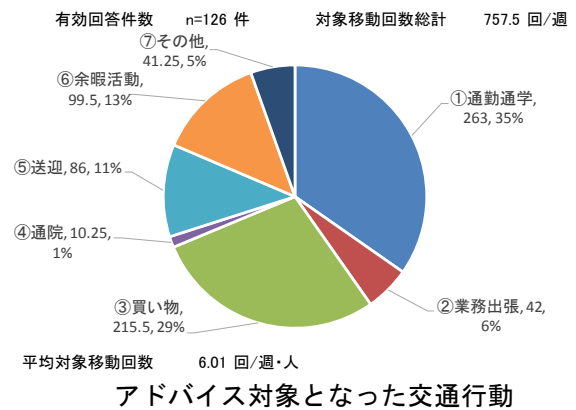
アドバイザー養成講座	受講者数	登録者数
A 日程参加 H27 年 10 月 27 日 eco-T	14	13
B 日程参加 H27 年 10 月 31 日とよた Ecoful Town	7	7
C 日程参加 H27 年 11 月 5 日とよた Ecoful Town	8	7
合計	29	27 名

エコ交通アドバイス活動参加者数（モニターとして参加）

エコ交通モニター参加の方法	アドバイスを受けた人数	モニター票に記入していただいた人数
エコ交通アドバイザーの知り合いとして参加	108 名	105 名
とよた Ecoful Town のクリスマスイベントで参加	24 名	9 名
合計	132 名	114 名

#### (2) エコ交通アドバイス活動の成果

エコ交通アドバイスの対象となった交通行動で最も多かったのは通勤通学で移動回数の 35% を占めています。アドバイスの結果、交通手段を変えてみようという意向は全体の 39% となりました。それ以外についてはエコドライブの推進となっています。これに対して実際に行動できた割合は、徒歩、自転車、公共交通などへの交通手段の変更については全体の 6%、エコドライブの実施については 42% という結果になり、車利用のおよそ半分についてエコ交通が行われました。



#### (3) CO2 削減量の評価

分析の結果、それぞれのモニターの 1 週間のトライアルで削減できた CO2 は一人当たりで 4.6 kg、合計で 533 kg となりました（有効票数 114 件）。この方々が今後もエコ交通として取組んでいただき、定着率を 5 割と仮定すると直接効果を含む 1 年間の削減量は全体で 14.2t を見込むことができます。

作成：一般社団法人環境創造研究センター（愛知県地球温暖化防止活動推進センター） 平成 28 年 3 月  
〒461-0005 名古屋市東区東桜 2-4-1 第 3 コジマビル 4 階 Mail : info@kankyosoken.or.jp  
Tel:052-934-7295 Fax:052-932-7296